

**兵庫県保険医協会北阪神支部****ー新春学習会のご案内ー****日常診療・医院経営で  
知っておきたい法律知識****講 師 與語 信也 弁護士 (神戸花くま法律事務所)****日 時 2026年1月31日(土) 16:00 ~ 17:20****会 場 がんこ宝塚苑 (宝塚市栄町 3-3-15 TEL:0797-85-8188)****※終了後、同会場にて新年会(参加費:10,000円 17:30~)**

クレーム対応と応召義務、ネットの口コミ対応、雇用関係のトラブル、パワハラ、セクハラ、カスタマーハラスメント防止など、医療機関の診療や経営では様々な問題に遭遇する可能性があります。

北阪神支部では、協会「保険診療法制研究会」に参加し、『医師・歯科医師のための知っておきたい法律知識』のご執筆にも参加された與語信也弁護士をお招きし、医療機関で日常的に起こりうるトラブルについて、法律を踏まえた対応のポイントを解説いただきます。終了後には講師を囲んでの懇親会もございます。ぜひご参加ください。



お問い合わせは、北阪神支部担当事務局 (TEL 078-393-1805) 大野・小川まで

(切り取らずに返信ください) 【FAX返信】 078-393-1802

■北阪神支部・新春学習会に ( ) 名出席します

新年会に ( ) 名出席します

地区 \_\_\_\_\_

※人数をお知らせください

お名前 \_\_\_\_\_

医療機関名 \_\_\_\_\_

**兵庫県保険医協会****北阪神支部 ニュース**

2026年1月25号 No.364

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部  
支部長 林 宗茂〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31  
神戸フコク生命海岸通ビル5階☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802  
<http://www.hhk.jp/>**2026年 新年ご挨拶****謹賀新年**

新年あけましておめでとうございます。昨年中は色々とお世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年12月25日(木)読売新聞には、「政府は2026年度の診療報酬改定で医師、看護師らの人件費に回る『本体』部分を3.09%引き上げる一方、薬代の『薬価』部分は0.87%引き下げ、全体で2.22%引き上げると決定した。全体のプラス改定は12年ぶりで、本体部分の改定率が3%を超えるのは30年ぶりとなる。物価や賃金の上昇を踏まえ、財務相と厚生労働相の閣僚折衝で合意した。」と記載されました。

**北阪神支部長 林 宗茂**

十分とは言えないですが、医療関係者にとって大変ありがたいことです。また、介護保険サービスを行う事業者に支払う「介護報酬」は2.03%、障害者への福祉サービスを行う事業者への「障害福祉サービス等報酬」は1.84%それぞれ引き上げられます。両報酬の改定は原則3年に一度で、次回は27年度の予定でしたが、26年度に前倒しで実施することです。今年は医療関係者にとって少し明るみが見えてきた感じがします。

今年は「丙午」年ですので、北阪神支部としては、走って、走って、走って、走って参りたいと思っております。

最後に皆々様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

## 臨床研究会 感想文

# 多職種が協働できる老健は地域包括ケアの中核

介護老人保健施設エスペランサ 施設長

古瀬 明子 医師



講師の妙中信之先生（左上）が介護老人保健施設の特徴を解説

支部は昨年12月6日に臨床研究会を伊丹市立産業振興センターで開催した。元宝塚市立病院院長・宝塚市保健福祉サービス公社理事長・介護老人保健施設「ステップハウス宝塚」施設長の妙中信之先生が「老健施設医に転身して思うこと」をテーマに講演し、会員と介護に携わる多職種29人が参加した。参加した介護老人保健施設エスペランサ施設長の古瀬明子医師の感想文を紹介する。

「老健施設医に転身して思うこと」を拝聴しました。妙中先生は宝塚市立病院時代から医師会活動に積極的に関わり、診療所や施設を一つ一つ訪問し、地域医療支援病院として垣根を下げてこられました。急性期医療の第一線から老健に転身されたからこそ、老健を客観的に捉え、その課題を鋭く指摘されており、長年老健施設医として働く私にとって切実な内容でした。

老健は病院からの在宅復帰施設として設立されましたが、現在は医療依存度の高い方や看取り期の方まで担う役割が広がっています。救急医療の逼迫により、施設内での医療対応が求められる場面も増え、それは老健管理医師研修の内容にも表れています。究極はコロナの時で、重症者の受け入れ先がなく、設備も人手もない施設内で治療せざるを得ない状況でしたが、救急車が挿管を求めて戻ってきたエピソードは特に印象的でした。

(3面に続く)

## (2面からのつづき)

多職種が協働する老健は地域包括ケアの中核ですが、入所中の薬剤が全額自費で施設負担なのは大きな問題です。近年高血圧・糖尿病・心不全・心房細動など高齢者によくある病気に高額な新薬が増え薬価は数十倍に達し、紹介時に変薬不可とされることも多く、老健には重い負担です。必須の薬は入所中も保険適用を願う一方、国の医療費高騰や、高齢者のポリファーマシー解消という視点から、高齢者の薬物治療を見直す必要性を改めて感じました。



質問をする古瀬明子医師

## 健康情報テレホンサービス

通話料無料 固定電話は **(0120) 979-451**



携帯電話は  
**078-393-1824**  
**078-393-1825**

★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/> 左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

### 【2月のテーマ】

- 月曜日 子宮がん検診のすすめ
- 火曜日 医療機関の経営を支えるのは政府の役割  
—医療費拡大で地域を豊かに—
- 水曜日 不整脈と言われたら
- 木曜日 急性肺炎と慢性肺炎
- 金土日 貨幣状湿疹

★祝日は直前の放送日のテーマを放送します。

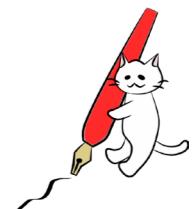
★都合により、テーマの一部が変更となる場合もあります。

★患者さんに配布していただける放送テーマのミニチラシ(A6サイズ)を作成しています。  
送付ご希望の医療機関は事務局 078-393-1840まで。

## ☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。



TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail akane@doc-net.or.jp 担当: 大野まで